

「不純物」が大活躍するという話のこと。

2025(R7)/04/27(日)、ある知人宅での話。図－1（日本経済新聞電子版／2024年4月6日）のとおり政府は経済安全保障を名目に、半導体産業に対し巨額の補助金を投じている話題が持ち上がった。国民の税金で民間企業をほぼ丸抱えて事業の立ち上げを目指すものである。ここでは賛否や半導体の重要性については置くことにする。

話題の中心は「半導体」とは何ぞやから始まった。

導体（電気を通しやすい物質）と絶縁体（電気を通さない物質）の中間の性質を持つ物質のことを指す物である。

実用ICチップとしての半導体生成過程を簡単に整理する。電気的特性をシームレスに制御する物体（半導体）を生成するために、まずは高純度な半導体素材を準備し、この真性半導体に対し、目的とする電気的特性に応じて、あえてあ

る**不純物（ドーパントと称するヒ素やホウ素等）を微量添加**して生成する。IC（集積回路）チップは電気信号を効率的に伝えるために使用される『①導体』と、異なる導体層を電気的に分離して不要な電流の流れを防止する『②絶縁体』と、新しく生成した『③半導体』の三位一体を以って構成することになる。三位一体というが、最重要因子は『③半導体』であり、その性能がIT（コンピュータ関連の技術）・ICT（IT利用した高度情報伝達技術）の命運を左右する心臓部となる。

導体を左極とすれば絶縁体は右極に配当出来る、その中間の性質を有するものが最重要因子だということ。左極の導体の性質はそれで十分な価値はあろう、右極の絶縁体の性質はそれで十分な価値はあろう。しかし、それだけでは不十分・片手落ち、それ以上の価値があるのは中間物だということである、それも**真性をベースして、あえて（強制的に）不純物を混入することで飛躍的性能を生み出す**というのである。

そこで分かり易く説明するために、私にこの構造を人間に重ねるひらめきがあった。

左極を共産党とする、右極を自民党とする。それぞれには依って立つ理由はある。しかし、人間の思想信条において、共産党員となって共産党オンリー、自民党員となって共産党オンリーでは限定化されたその枠内に留まり、創造性、成長性、発展性は望めないということを意味する。そこに不純物（多様な価値観）をまぶした中間物精神がより価値を高めるという訓えである。ならば、中間（半導体）とは立憲民主党か、日本維新の会か、国民民主党かとなる、そんなものも取るに足らないNon！ ならばどうればいいのか。

人間にとって必要なものの不純物（ドーパント）とは「四方八方・硬軟自在のごちゃ混ぜ許容精神」である、その萌芽の結実、すなわち完成物は「良心・致良知」となる、すなわち半導体である。

すると「不純物混入の半導体＝良心・致良知」の等式が成立するのである。一般的には疑問符が付くだろう、例えば少し違和感があるというかもしれない。しかし、私には何も違和感はない、当然のことと思う。その理由を別記の「【Zigzag-memo No39】私に棲む『<sup>ぶつまどうご</sup>仏魔同居』」などZigzagシリーズに織り込んだ。逆説的には、不純物の混入というものの不純物混入に拘泥執着し、三位一体の視座が欠けるならばそ

| 政府の主な半導体補助 |                |          |
|------------|----------------|----------|
| 企業名        | 概要             | 金額       |
| TSMC       | 熊本県に第1、第2工場を建設 | 1兆2080億円 |
| ラピダス       | 最先端半導体の量産を計画   | 9200億円   |
| キオクシア・米WD  | 先端メモリーなどの量産    | 2430億円   |
| 米マイクロン     | 次世代メモリーの開発・量産  | 2385億円   |
| 東芝・ローム     | パワー半導体の共同生産    | 1294億円   |

(注) 金額は最大 (出所) 経済産業省など

図－1

れは偏倚・偏向であり、もはや発展の兆しは雲散霧消するのみである。

左極の導体と、右極の絶縁体と、中間の半導体との三位一体、中でも、中間の半導体は『真正＋不純物』、その全体統合で、今世の高度情報社会を支える最先端技術の心臓部を為すというのである。ある面、「ごちゃ混ぜ」がキーワードである。自分の心の仏魔の同居、両立、並立の存在から逃げずに向き合っていると、良心が優勢になるというか、犯罪などはとんでもないと思うものである。

ところで、3回目四国へんろの時、警視庁出身の斎藤さんと会い様々な話を伺いました。“人間は一度罪を犯し刑務所に入った者は、出所してもなかなか完全更生しない、公表されている以上に再犯率が高い。”とおっしゃられた。私が思うに、一度、犯罪者は心に傷が付いて、身体・肉体の治癒のようにはいかない、一生、癒えることはないと考えている。

生きがいのシーズを為すごちゃ混ぜの妙は、「よそ者・バカ者・若者」（うつけ者・たわけ者・奇人変人、化け者）に加えて、次の「ごちゃ混ぜ三要素」

|                |
|----------------|
| ✓年齢・経験の壁を破壊・排除 |
| ✓学歴・役職の壁を破壊・排除 |
| ✓思想・信条の壁を破壊・排除 |

が肝・キーワードとなる。

ICチップの不純物とは、本物の・純粋な『不純物』である。人間の不純物とは「マンキタゲ佞奸根性」？これではもはや不純物とは言わない、「マンキタゲ佞奸根性」では汚れ切った真っ黒けの真っ黒、こんなのは糞の役にも立たない。私のいうICチップ相当不純物とは、「ごちゃ混ぜ中性子」を指す。本物の「不純物」思想信条に色が就いていない、考え方に偏りが無い、いわば、プラス（＋）とマイナス（－）の両極を統合内蔵したまさに中性子の心をいう。だからこそ、『ダイバースティ叡智の海（多様雑多・ごちゃ混ぜの妙）』が生まれ楽しくなるのだ。だからこそ、生きがいは、そういう本物の「不純物」で満たされればこそ生まれるのだろう。

私に宿る不純物の具体的表示例は次のとおり。

- ・彩色性多重人格
- ・新型風見鶏
- ・ごちゃ混ぜシャッフル狂
- ・喜怒哀楽乱高下型変態人

(end)